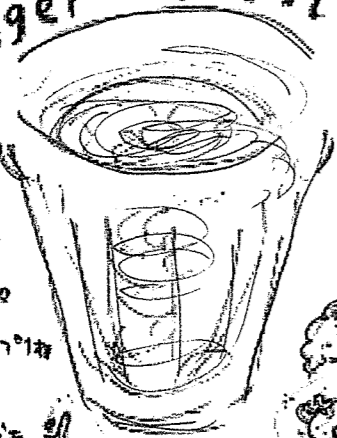


こより便り vol.1

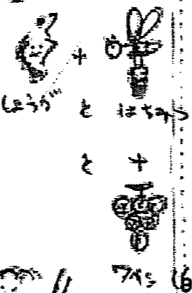
みなさん、おきげんよう。こんにちは。
こより便り葉子店の伊藤です。
この風が吹いて、冬が始まりました。
寒い日が続きまると、ホットドリンクで
体を暖めて気分に癒えたいですね。

Ginger Wine



Recipe

生姜 150g
はちみつ 少々
ワイン カップ1杯



つくりかた

生姜をすりおろし、全部の材料を瓶に入れて
はちみつと混ぜ合わせる。茶こしでこし、カップに注ぐ。
!お好みでスパイスを加えても。



*	*
*	*
月刊	猫屋通信
*	*
*	*
*	*
*	*

月刊 猫屋通信

* 創刊号 vol.1

猫屋通信とは
毎月第3日曜日に行われている
「猫屋横丁」のイベントによる
新聞です。これから毎月発行。
各店舗にて配布頂きます。

2008年も早いもので、
あとわずかとなりました。
私にとっては、今年も、とてもとても
忙しい1年でした。ドキッとした無印の広告
に始まり、「天然生活」「LEE」などの取材、「キルト・
セゾン・トキオ(自由が丘)でのイベント、もちろん羊毛のお店
「アナンダ」や「おばあちゃんの玉手箱」の仕事も……。
そして!!「長男堂」直月市への参加は、近所の一住民として
とても楽しい行事でした。Merci!毎月第3日曜日はふらりと
長男堂へ……手作りのパンやおにぎり、かわいらしい菓子やコーヒー、
スタッフが気にかけて作った羊毛の小物、手紙が糸が並ぶ。
「羊毛のこより」 LECO OGATA
hopetosa.com 糸巻方 俊香

天才バカボン

私に『天才バカボン』を「君に必要な
ものほこり」とばかりに全巻を持って
来た人がいる。せつやくの「おかし」
私はこのマンガが大好きである。
読んでみるとイライラしてくるのである。
リアルタイムで読んだ時から、これは愛する
天才と言われ、タモリが師とする赤塚不二夫
である。しかし、今回もやはり一巻
途中で、(ほうり出した。
何故、どうイライラするのか――?

オ一巻目の表紙うらに、まだ毒気のはい
ツルンとした若憎赤塚不二夫 近景と
共に、こんなことが書いてある。
「ぼくは、ほか者がうらやましくては
りません。ぼく自身は中途はんぱなぼか
だから…… ぼくはこの『天才バカボン』
で、こんなふうな自由な身にならしてみたい
と、いう空想を思いやりかきこんでみて
います。ぼくにとって、バカボンのバカは
もともとあこがれとする男性像の代表
コレだ!」
これがイライラさせるんだ。
「中途はんぱなバカ」なんで十分ではな
いか。「男の自由」「理想の男性像」
ばに、考えまてんだか!

そして、こんなところどころに
『男と女の間の深く暗い河』
みっけ!! (K)

ウラも見て
下さい

